



あさり

～夢と自信と地域への思いを育む学校を目指して～

- 進んでかかわり 共に高め合う子
- 自ら学ぶ子
- 思いやる子
- たくましい子

小樽市立朝里小学校
令和5年度
学校便り

第5号
2023.7.25 発行

ひとみキラキラ 1 学期

校長 岡 田 貴 幸

楽しい時、考えている時、悲しい時、ぼーっとしている時でも、どうして子どもの目はいつも素敵なんだろう。子ども達のまなざしに励まされ、たくさんのひとみキラキラに出会えた 1 学期でした。

- ・「おはようございます！」私より先に大きな声で朝の挨拶をしてくれる子。
- ・みんなで音読するときに、気持ちよさそうに声をそろえる子たち。
- ・「ちょうちょうができた」と道端の花をアレンジして持ってきてくれた子。
- ・「話を聞いてください」と言う子の切実な目。
- ・「トライアルで校長先生を見たよ」と笑顔の子。
- ・クロームブックを使って、学習のまとめをする子の大人っぽい真剣なまなざし。
- ・授業中に友達の意見を聞いて大きくなすく子の誠実な姿勢。
- ・席を立つときは、両手で椅子をそろえてから行動する子の落ち着いた立ち振る舞い。
- ・いつも笑顔の子。

ひとみ キラキラ

自分事として考え、

R5年度重点目標

進んで行動する朝里の子の育成

お子さんの成長をいくつ挙げられますか

今日で1学期が終わりました。4月に入学してきた1年生は、1学期の学習を通してしっかり並んで静かに廊下を歩いたり、チャイムが鳴る前に座ろうと頑張れたりすることができ始めました。学ぶことでの成長を強く感じます。他の学年はどうでしょう。

今年度から全学級クラス替えがありました。年度初めは、環境の変化からワクワクやドキドキの様子で過ごしていましたが、運動会など行事を通して、学級・学年がまとまり始めました。

補欠で入ったある学級で「タイリョク」について話したことがあります。それは、よく言われる「体力」ではなく「耐力」についてです。最近の子ども達に足りないのはこの力だとよく言われます。

実際、「わからないから」「つかれたから」「たのしくなさそうだから」といった理由で取り組まないことを当たり前に行っている様子とその学級にも見られました。そこで、ノート作りについてみんなで頑張ることを伝えると、どんどん集中して取り組むようになり、最近では挙手をして自分の考えや答えを発表する姿も見られてきました。何かをきっかけに子ども達の成長を感じられる良い機会でした。2学期は、「対力」(対人力:コミュニケーション力)を高めていきたいと考えています。

子どもたちには、様々な可能性があります。それに気づかせ、伸ばしてあげられるのは、私たち大人の役割です。

皆さんは、お子さんの成長をいくつ見つけられますか。ぜひ、1学期の成長を褒めてあげてください。

